

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割を目指すべき学校像)</p>	<p>実践的な教育を通じて心を技を磨き、社会や地域の発展に貢献できる人材を育成する学校 ・世界で活躍するプロフェッショナルとの交流や地域と連携した体験的な学習、専門的な施設設備での実習や最先端の理論に基づいた学習などを通して、グローバルな視野を持ち、他者と協働して地域の課題を解決する人材や福祉、スポーツ分野で活躍する人材を育成します。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)</p>	<p>○学んだ知識や技術を活かして地域発展のためにリーダーシップを発揮できる人材の育成 (スポーツ健康コース)○スポーツに関する専門的な知識や技術を身に付けたアスリートの育成 (福祉教養コース)○命を大切に、人々に真摯に対応できる社会的能力を身に付けた、福祉、医療、看護の分野での高度な専門職人材の育成</p>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)</p>	<p>○二つの特色あるコースの専門性の強化 ○オリンピックやパラリンピアンなどトップアスリートや福祉・医療・看護現場の実践的指導者を招聘した特別講座などプロフェッショナルな技術を学ぶ授業を展開 ○国際交流を通じたワールドワイドな学習の展開</p>
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに関する方針)</p>	<p>○将来地元で就職したいと考えている人 ○スポーツ、福祉、医療、看護の分野でプロフェッショナルな技術を習得し、地域に貢献したいと考えている人</p>

学校運営計画(4月)			評価 (総合)
学校運営方針	『夢へチャレンジ!学び、励み、未来を創る MII for me』 「MII for me」「チーム三井」のスローガンのもと、強い使命感と連帯感をもって一丸となり、教育的愛情に基づく生徒理解と生徒一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導で個性を伸ばし、自己実現・夢実現を可能にする意図的・計画的な教育活動を組織的に推進する。		
<p>昨年度の成果と課題</p> <p>○日常的な感染防止対策を継続し、学校行事の実施方法等について再検討をしながら教育活動を円滑に進めることができた。 ○配慮や支援が必要な生徒への対応について、修学支援担当者やSSW・SGと連携を取り、充分に取り組むことができた。 ○進路に関わる行事について、具体的目標に沿って実施できた。さらに、内容を充実させていきたい。 ○進路に関わる不適正な採用選考の事象において、関係機関と連携して充分に対応することができた。 ○総合的な探究の時間を活用し、一昨年度よりスタートさせた地元地域と連携した取組を推進し、さらに充実させることができた。</p> <p>●観点別評価について、生徒の実態に合わせて本年度より新たな評価基準(知識・技能3割、思考・判断力・表現力3割、主体的に学習に取り組む態度4割)に見直すこととなった。 ●積極的な生徒指導の推進を図り、生徒の自尊感情や望ましい人間関係を育む取組が必要である。 ●一人一台端末を活用した指導内容・方法の工夫・改善について、継続して組織的に進めていく必要がある。 ●生徒の正しい身だしなみや振舞い方については課題がある。学校全体で連携を図りながら、根気強い指導を継続する必要がある。 ●安全指導の推進や大きな災害等への対応について、引き続き重要な課題の1つとして取り組む。</p>	<p>年度重点目標</p> <p>(1) 自ら考え判断し、自分の行動に責任を持ち、確かな学力を身に付けた生徒の育成</p> <p>(2) 友情を深め、お互いの人格を尊重する生徒の育成</p> <p>(3) 心身ともに健康で、何事においても最後までやり抜く生徒の育成</p> <p>(4) 教育の情報化の推進</p> <p>(5) P T A、同窓会、小・中学校、地域との連携及び広報活動の充実</p>	<p>具体的目標</p> <p>・福岡県学校教育振興プラン「銀ほめ福岡メソッド」を踏まえ、生徒が自律的に成長するための原動力となる「自尊感情」「チャレンジ精神」等の人格的資質を育成するための指導の充実を図る。 ・「三井高校生 授業開始心得」を全職員で徹底し、安心して学べる学習環境づくりと意欲的に授業に取り組む態度を培う。 ・「少数授業や習熟度別授業を効果的に実施することにより学力の定着・向上を図るとともに、特別講座等の充実により希望進路の実現を図る。 ・積極的な生徒指導の推進により自己指導能力の育成を図り、自発的、自律的、主体的に成長しようとする力を育成する。</p> <p>・「三井高校生3つの約束」を遵守させ、よりよく社会で力を発揮することができる生徒の育成を図る。 ・望ましいコミュニケーション能力を育成し、想像力や共感性、人間関係調整力の向上を図る。 ・人権教育に関する校内研修の充実、地域の学習会・行事等への積極的な参加を通して人権尊重の精神を高めるとともに、教育活動全体を通じて人権教育を推進し、生徒の人権意識や人権感覚を育成する。</p> <p>・学校行事等の充実を図り、体験的な活動を通じて鍛えて褒めることにより「できる」ことを実感させ、感動を得ること達成感と自信をもたせる。 ・清掃の徹底など校内美化に取り組む、落ち着いた学校環境づくりを進める。 ・部活動の活動内容の充実と加入率の向上を目指すとともに、強化部及び活性化指定部活動の実績向上を図る。</p> <p>・教科等指導におけるICT活用を促進するため、授業研究に取り組み、組織的な授業改善に努める。 ・生徒の適切な情報活用能力の育成と教師のICT活用能力の向上を図る。 ・校務の情報化を推進し、効率化を図り、超過勤務縮減など働き方改革に取り組み、教育活動の質を維持・向上させる。</p> <p>・学校パンフレットやホームページの充実を図るとともに、SNS等の活用を進め、生徒の学習活動、学校行事及び部活動等の様子を積極的に配信して広報活動を強化する。 ・小・中学校及び地域との連携を更に深め、協働した活動の取組を積極的に進める。</p>	

様式3

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
教科指導	基礎・基本の定着と確かな学力の育成	少人数授業や習熟度別授業を効果的に活用し、基礎・基本を身につけさせる。	授業アンケート、学校満足度調査	
		ICT機器を有効活用し、「主体的・対話的で深い学び」を実践する。		
	中途退学者の防止	教科担任連絡会等を実施し、生徒一人ひとりに必要な修学支援を行う。	退学者数	
		欠課時数報告用紙等により、遅刻・欠席の多い生徒への対応を充実させる。		
自動採点システムの導入と教育評価の見直し	自動採点システムの研修を充実させ、全職員が使用できるようにする。	授業アンケート・学校満足度調査		
	本校生徒の実情に合わせて評価基準・規準を見直し、教務規定を検討する。			
図書教育の推進と総合的な探究の時間の活性化	アドバンスタイムの充実や図書委員会の活性化を図り、読書を推進する。	学校満足度調査		
	総合的な探究の時間を地域探究活動を軸に体系化し、学校活性化に繋げる。			
生徒指導	基本的な生活習慣の確立とマナー指導の徹底	「三井高生3つの約束」を自分たちが守るべき約束として捉えさせ、基本的な生活習慣のさらなる確立を図る。	授業アンケート、学校生活アンケート、いじめアンケート	
		登校指導、服装指導、交通安全指導等をととして、生徒の規範意識の育成を目指す。		
		アンケート調査や個人面談等を丁寧に行い、いじめへの迅速な対応を行う。		
	地域連携と防災・危機管理	市や関係機関と連携をし、生徒の安全指導の推進や甚大な災害等への対応策を検討する。	学校満足度調査	
		地域のイベントや行事等に、ボランティアとして積極的に参加をする。		
	生徒会活動の活性化及び部活動加入率75%の達成	部活動の活性化をとおし、多くの生徒に明確な目標を持たせ、社会に貢献できる人材の育成を目指す。	学校満足度調査	
生徒会活動を充実させ、生徒の自主性を育成し、多くの生徒に学校での充実感を持たせる。				
進路指導	3年間を見通した系統的なキャリア教育・進路指導の充実	進路支援部内及び各学年・各分掌と連携し、組織的に取組を行う。	学校満足度調査・就職率・進学率・進路未定率	
		上級学校や職種を知り、早期に自己の適性に合った進路目標を立てさせる。(第1学年)		
		自己の適性に合った、希望進路に対応するための学力の定着・向上を図る。(第2学年)		
		全員の希望進路を実現させ、社会人としての常識やコミュニケーション能力を身に付けさせる。(第3学年)		
一人一人に応じたきめ細やかな進路指導の充実	到達度テストや校外模擬試験の結果を個人面談等に活用していく。	学校満足度調査		
	公正な採用選考及び入試の実現に向けた取組について、関係機関・団体と連携した取組を行う。			
研修ICT	校内及び校外研修の充実	本校が抱える諸課題及び将来を見据えた研修会を、他の分掌と連携して企画・実施する。	授業アンケート、人権アンケート	
		教員の資質向上のため、授業アンケートや公開授業を推進し、教科指導力を高める。		
		人権・同和教育研修の推進・充実を図り、教職員の人権意識や人権感覚を高める。		
	授業改善とオンライン学習推進	Chromebookや電子黒板といったICT機器に関する資料や情報の提供を行い、授業で活用できる環境を整備する。	授業アンケート、学校満足度調査	
授業アンケートの形式を刷新し、教師側の授業力向上と授業改善を図る。				

様式3

google classroom等を活用し、生徒と教師それぞれのICT操作能力の向上を目指す。

様式3

保健環境	心身の健康管理についての取組の充実	SC、SSW、訪問相談員と教職員が十分な連携をとり、教育相談活動を充実させ、生徒が安心した学校生活を送ることができるよう支援する。	学校満足度調査		
		健康調査を実施し、生徒の心身の健康状態について全職員で情報を共有し、生徒の学校生活に有効活用する。			
		性と心の健康相談や感染症予防の啓発活動を行い、生徒の心身の健康に対する意識の向上を図る。			
校内外の美化活動の充実		日々の清掃活動を充実させ、特にゴミの分別の徹底を目指す。	学校満足度調査		
		大掃除や三井高クリーンアップ週間を充実させ、生徒の美化意識を高める。			
		各学年による地域清掃活動を充実させる。			
広報庶務	学校行事等の円滑な実施および検討・改善	要項や案内文書等を迅速に提示し、学校行事等を円滑に実施する。	学校満足度調査		
		三井高発表会について検討・改善を図り、活性化につなげていく。			
	PTA活動の充実	PTA活動行事を精選し、活性化を図ることで、次年度の参加者確保につなげていく。	学校満足度調査		
		安全安心メール、学校HP等を活用し、保護者への情報発信を充実させる。			
	広報活動の充実	学校パンフレットや学校HPを充実させ、中学校訪問等で活用して、生徒募集へとつなげる。	キャンパスツアーアンケート、体験入学アンケート		
		「体験入学・部活動見学会・進路相談会」を充実させ、生徒募集へとつなげる。			
保護者・地域と連携した学校行事の活性化		体育祭や三井高発表会など保護者や地域に開かれた学校行事の充実を図る。	学校満足度調査		
		野田宇太郎生誕祭や松崎地区文化祭などと連携して行事を行い、地域への発信を図る。			
人権・同和教育	人権・同和教育に関する知的理解と人権感覚の向上	教職員の人権に関する知識理解と人権感覚の向上のため校内・校外研修へ積極的に参加する。	学校満足度調査		
		各地区における連絡会や地域で開催される諸行事へ積極的に参加する。			
		人権教育関係の図書や資料の充実とその周知を行い、人権・同和教育学習の改善や新たな取り組みに活かす。			
	個別的な人権課題や生徒の実態を踏まえた人権・同和教育の推進		人権・同和教育推進委員会を中心に、情報交換・共有を行い生徒の生活背景などを踏まえたうえで指導・支援方法等を行う。	学校満足度調査	
			生徒理解のために家庭訪問や中高連絡会などを通して、家庭や中学校、関係機関との密な連携を図る。		
			生徒の実態把握に努め、各学年の課題を踏まえて、3年間を見通した人権・同和教育学習を実施する。		
事務部		定期的な施設設備の点検により、校内危険箇所等の迅速な把握及び改善に努める。	学校満足度調査		
		契約内容の見直しや、執行予算の精選等により、予算の効率的・効果的執行に努める。			